

総合政策部人権政策課

1 学校における人権教育の推進

(1) 米子市いじめ問題検証委員会及び米子市日吉津村中学校組合いじめ問題検証委員会の設置

平成26年7月1日より設置 再調査件数0件

(2) その他

人権の花運動 弓ヶ浜・箕蚊屋・淀江・福米西小学校

2 社会における人権教育の推進

(1) 市民啓発

ア 中学校区人権問題講演会 ※3校区中2校区で開催、1校区は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 社会教育指導者養成

(ア) P T A人権教育研修会

(イ) 人権教育地区推進員研修講座 年1回開催（人権教育地区推進員58人を対象）

ウ 中学校区社会・学校人権教育関係者連絡協議会 11中学校区

エ 社会教育団体の研修

オ 社会教育振興事業

カ 人権教育地域懇談会開催 市内28地区の米子市地区人権・同和教育推進協議会に委託し実施

51回開催 752人参加

キ 広報誌に掲載 広報よなご「ヒューマンライツ～みんながしあわせな社会をめざして～」

年12回

人権問題啓発誌「心ゆたかに」 年2回

ク 研修会の開催

米子市ヤングケアラー研修会（こども総本部こども相談課との共催）

期 日 令和4年10月6日

会 場 米子市淀江文化センターさなめホール

演 題 「ヤングケアラー当事者の人生から考える支援の方法」

講 師 宮崎 成悟 氏

その他 ディスカッション「求められる支援と地域の実践」

パネリスト 宮崎 成悟 氏 、神戸 貴子 氏 、西村 耕一 氏

参加者 102人

(2) 企業啓発

人権教育推進員を派遣し、企業等に対し人権問題に関する講演や研修体制の指導・助言を行い人権問題啓発を行った。

講演実施回数 延べ 5回

(3) 社会を明るくする運動

ア 開始式 6月25日 米子コンベンションセンター 小ホール 103人参加

講演「よくわかる刑務所」 西田 恭平 氏

イ のぼり旗の掲出

7月の強調期間中、市内各公民館と市役所周辺にのぼり旗を掲出し、社会を明るくする運動の意義を啓発した。

ウ 作文コンテスト

小・中学生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりなどに関して考え、感じたことを作文にすることを通じて、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的として実施した。

エ その他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設訪問、学校と保護司の連絡協議会は中止

(4) 新型コロナウイルス感染症に関する人権啓発

ア 「新型コロナウイルスに関する人権侵害を防ぐ、3つの宣言」

ポスター掲示

イ 「マスクをつけることができません」カード

事情によりマスクをつけられない人がいることを理解していただくためのカードを市役所本庁舎ほか4箇所配布

3 人権情報センター

(1) 利用環境

ア フィールドワークの受入れ・ゲストティーチャー出講 15件

イ 図書資料蔵書総数 5,188冊

ウ 啓発ビデオ・DVD所蔵総数 512本

(2) 人権に関する情報の収集

ア 収集・購入した図書資料 36冊

イ 収集・購入した啓発DVD 5枚

ウ 県内外の人権啓発機関誌・資料等

(3) 人権に関する情報の提供

ア 「よなごの人権フォーラム'22」の開催

期 日 令和4年11月23日

会 場 米子コンベンションセンター小ホール

演 題 「もみじの家がめざす社会～医療的ケアがあっても安心して暮らしたい～」

講 師 内多 勝康 氏

参加者 計76人

その他 中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読（録画上映・代読）、人権啓発パネル展を同時開催

イ 「市民向け人権学習講座」の開催

会 場 市役所本庁舎4階401会議室

演題及び講師

第1回「障がい者の人権について」 植村 ゆかり 氏

第2回「ネット犯罪にあわないために～パソコン、スマホのセキュリティ対策～」 金森 正記 氏

第3回「バイアスと人権」 岡 研司 氏

ウ 人権情報センター機関紙「ひゅーまんらいつ」発行（年2号）

エ パネル展の開催

ハンセン病啓発パネル展 令和4年6月7日～20日（米子市人権情報センター&本庁会計課前）

部落解放月間パネル展 令和4年7月11日～8月9日（米子市人権情報センター）

オ 企画展の開催

企画展 2022春のじんけんギャラリー 令和4年4月1日～13日

「多様性について」（米子市立図書館2階市民ギャラリー）

2022夏のじんけんギャラリー 令和4年7月8日～27日

「社会を明るくする運動」を知っていますか？（米子市立図書館2階市民ギャラリー）

カ LGBTQコミュニティスペースの開設

(ア) 毎月1回 コミュニティスペース開催

(イ) 映画上映会の開催

期 日 令和5年2月11日

会 場 市役所第2庁舎2階スペース

標 題 「ぼくが性別ゼロに戻るとき 空と木の実の9年間」

参加者 31人

(ウ) 講演会の開催

期 日 令和5年3月11日

会 場 国際ファミリープラザ3階会議室 B

演 題 「性の多様性から「じぶん」について考える」

講 師 田中 一步 氏 、 近藤 孝子 氏

参加者 30人

4 推進団体の育成支援

(1) 米子市人権・同和教育推進協議会

ア 米子市補助金 2,754,000円

イ 主な事業

(ア) 第48回米子市人権・同和教育研究集会

テーマ 「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」

期 日 令和5年1月24日

会 場 米子コンベンションセンター多目的ホール

講演1 『部落解放への展望－差別のしくみから考える』

講師 内田 龍史 氏

講演2 『LGBTとジェンダー・セクシュアリティをめぐる人権課題』

講師 仲岡 しゅん 氏

参加者 310人

(イ) 研修会、研究集会派遣事業

第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加

部落解放研究第55回全国集会 参加

(ウ) 研究委託事業

部会名	事業名	備 考
就学前教育部会	就学前人権・同和教育研究委託※	保育園等に研究委託
学校教育部会	中学校区人権・同和教育研究委託	市内11中学校区
社会教育部会	広報発行委託	人権・同和教育広報紙発行 9地区同推協
	P T A研究委託※	2中学校区P T Aに人権・同和教育研究委託

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(エ) 同和地区学習会

2小学校、2中学校 指導者 延べ126人

目 的 同和地区児童生徒の社会的立場の自覚を深めるとともに、未来への明るい展望を持ち、差別の悪循環を断ち切るために必要な力を育成する。

(2) 米子市人権問題企業連絡会

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、企業がその社会的責任の重要性を自覚し、自らの問題として主体的、自主的に取り組んでいくことを目的として平成8年11月に設立された「米子市人権問題企業連絡会」に対する補助金の交付等事業支援を行った。

ア 米子市補助金 320,000円

イ 会 員 数 69社（令和5年3月31日現在）

ウ 主な事業内容 幹事会、新規採用者研修会、人権問題研修会、トップ及び担当者等研修会、県内外の各種集会・研修会への参加

（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期総会は書面開催）

5 同和対策関係

(1) 隣保館事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

ア 啓発・広報活動（隣保館講座の開催、隣保館だより（ふくりん通信）の発行等）

イ 相談事業（生活上の相談や人権に関わる相談への助言、指導）

ウ 地域交流事業（各種教養講座、学校やP T Aとの交流会の開催等）

エ 地域福祉事業（健康講座、高齢者料理教室の開催等）

オ 識字・日本語教室（外国出身の方を対象とした日本語読み書き教室） 受講生 3人

(2) 地区会館運営事業

隣保館事業に準じた事業を行い、地域住民の福祉の向上を図った。

(3) 米子市同和対策進学奨励金の給付

市内に住所を有する同和地区関係者で、大学、専修学校等に進学する能力を有しながら経済的に修学が困難な者に対して、進学奨励金（月額18,000円）を給付した。

ア 受給者数 大学1人

イ 給付額 216,000円

(4) 同和地区高校生夏季研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 住宅新築資金等貸付事業に係る貸付金の償還事業

昭和41年度から平成8年度にかけて行った住宅改修資金、宅地取得資金、住宅新築資金貸付事業の償還事務を行った。

(6) 差別事象への対応

差別事象発生時には迅速かつ適切な対応を行うこととしている。

(7) 米子市同和事業推進協議会への支援

市内の同和地区関係者によって組織された同協議会が行う、同和問題の早期解決及び同和地区住民の社会的地位の向上を図るために実施する事業について支援した。

米子市補助金 1,135,000円

6 拉致問題関係

北朝鮮による拉致被害者として政府認定された松本京子さんのほか、市内では、古都瑞子さん、矢倉富康さんが消息不明で拉致された疑いが持たれている。拉致問題の早期解決に向け、世論を盛り上げるための市民啓発や国への要望活動を行った。

(1) 拉致問題啓発パネル展の開催

令和4年12月7日～18日

(米子市福祉保健総合センター ふれあいの里1階パブリックスペース)

(2) 「拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子」開催

令和4年10月2日 米子コンベンションセンター国際会議室 参加者約140人

(3) 国への要望

ア 令和4年7月12日 赤池内閣府副大臣へ要望書を手交

イ 令和4年10月2日 松野内閣官房長官兼拉致問題担当大臣へ要望書を手交

(4) 拉致被害者等の帰国支援体制共通マニュアルに基づいた帰国時対応の図上訓練を実施

市役所内関係部署において令和4年8月16日・17日に実施した。

(5) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間に係る広報活動

ア 令和4年12月9日～14日 ブルーリボン運動にちなみ公会堂のブルーライトアップ

イ 令和4年12月7日～18日 ふれあいの里1階パブリックスペース・市役所市民ホールでDVDを放映

ウ 令和4年12月1日～31日 公会堂前交差点YYビジョンで拉致問題の広告動画を掲出

エ 令和4年12月11日 人権擁護委員・米子警察署と合同で街頭啓発 於：イオン駅前店

7 米子市人権問題市民意識調査の実施

(1) 目的 人権問題に関する市民意識の現状を把握することによって、人権問題に取り組んできた成果と課題を明らかにし、米子市人権施策基本方針・推進プランを効果的に推進するための基礎資料として活用することを目的として実施

(2) 実施時期 令和4年9月

(3) 調査対象 米子市住民基本台帳から、15歳以上80歳未満の市民3,500名を無作為抽出

(4) 回収結果 有効回収数：1,297名（有効回収率：37.2%）